



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

2000年1月1日発行 第22号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

年頭のご挨拶

会長 下山貞明

あけましておめでとうございます。

皆様方には、輝かしい新春をお迎えのことお慶び申し上げます。

日頃、当協会の事業の推進にあたり多大な御協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

本年度は当協会の創立10周年を迎え、その記念事業の一環として次の事業を予定しております。

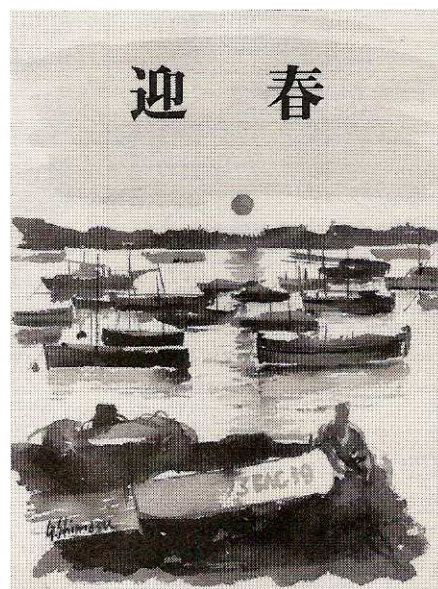
1) ロンダ市代表団の歓迎

(ロンダ市は1993年3月に第1回さくら植樹、1998年2月に第2回さくら植樹をした友好都市)

2) スペインに関する多彩な記念行事の実施

皆様方の英知と行動力を是非ともお願い致します。

どうか皆様方には、この10周年事業を起点として、更に実りある楽しい協会に発展するよう御力添えをお願い申し上げます。



▲ガタスケス湾の朝 (島津豪亮会員・画)

新年を迎えて

副会長 植田伊津

今年は横浜スペイン交流協会創立10周年を迎えた記念の年であり、西暦2000年の新春を迎えた年でもあります。改めてこの歳月の流れの節目を意識する時に出会ったこと感無量であります。

「さくら」をスペインにと言う主眼、下山会長と会員皆様のご努力によって、見事に生かされました。

スペイン国ロンダ市長さん一行、はるばるさくら咲く季節に当協会を訪れてくださることに決定とのこと嬉しい便りです。会長先頭に会員一同で歓迎です。心から喜び、心からお迎えする、この意気でやさしく、さくらの満開の美、散る花吹雪の美、ご覧に入れたいと思います。さくらが語る無言の重さです。

年頭のご挨拶

副会長 齋藤由基彦



▲左から植田副会長、下山会長、齋藤副会長

新春を迎え皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

当協会は創立10周年を迎えますが、皆様のご理解とご協力により発展してまいりましたことは誠に同慶の至りです。

記念事業を成功させ、更なる発展を期したいと存じます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

10周年記念事業の概要決まる

会員有志による数回の準備会を経て、10周年記念事業の概要が以下のようにまとまり、役員会の承認を得た。

ロンダ市代表横浜訪問団の歓迎日程概要

- 4月2日(日) 成田空港到着ー空港出迎えーナビオス横浜にチェックインー宿泊
- 4月3日(月) 横浜市市長表敬訪問ー市会議長表敬訪問ー西谷浄水場視察ー歓迎パーティ(マリーニルージュ号にてアフタヌーンクルーズ 会費 5,000円)ー横浜中心街散策
- 4月4日(火) 中型観光バスを使用し、スペイン大使館訪問ー都内さくらの名所を探访
- 4月5日(水) スペイン語講座委員会の担当で、横浜市内のさくら探訪のピクニック(三溪園、根岸公園など)
- 4月6日(木) 中型観光バスを使用して神奈川観光(八景島水族館ー鎌倉八幡宮ー鎌倉大仏ー箱根)
- 4月7日(金) ナビオス横浜チェックアウトーAdiós

「私たちのスペイン展」

- 期間: 7月2日(日)~9日(日) 展示会場設営と内覧会 7月1日(土)
- 場所: かながわ県民活動サポートセンター 1階展示場
- 内容: 第5回写真展、絵画、手芸、陶芸及び押し花等の展示

2000年度定時総会

- 7月7日(金) 16:00~17:00 会場 かながわ県民活動サポートセンター

創立10周年記念式典

- 7月7日(金) 18:00~18:45 会場 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ
- 祝 宴: 19:00~21:00 会場 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ
- イベント: (1) 室内楽 湘南ドレスデン弦楽四重奏団
- (2) 歌曲 上野淑子理事
- (3) フラメンコ アトランタ
- (4) フィナーレ クラベリートスの大合唱(全員)

※創立10周年記念式典の会費は10,000円、4月にチケットを発行する予定。

他に10周年記念事業として、準備を始めたものや検討中のものは以下の通り。

- (1) 「協会10年のあゆみ記念誌」の発行
- (2) スペイン映画祭
- (3) スペイン料理講習会
- (4) 講演会「スペインの経済事情」
- (5) 在日スペイン人との懇談会等

さくら咲く横浜へ招待 ロンダ市からの訪問団

当協会では、昨年のロンダ市よりの招待の返礼として、1999年7月13日付でロンダ市に横浜へ招待する旨の書状を送っていたが、10月28日付で次のような回答があった。

【回答文抜粋】(栗山由美子会員・訳)

来年4月、横浜訪問のご親切なご招待を頂きましたことに心より御礼申し上げます。

私どもはこのご招待をお受けし、上記の手紙でお申し出になられた日程で横浜に参ります用意が出来ておりますことを喜んで皆様にお伝え致します。

ロンダ市役所の公式訪問団は次のメンバーを予定しております。

- | | |
|---------------------|------------|
| ホセ エレラ ラケホ | ロンダ市長 |
| ファン ベニテス メルガル | 第一助役 兼観光局長 |
| パスクアル デル リオ フェルナンデス | 文化局長 |
| アントニオ ラサンタ グティエレス | 教育局長 |
| マリア ホセ カスタニョ ヒメネス | 公園庭園局長 |
| マリア パス フェルナンデス ロバト | 祭典局長 |

用件のみにて失礼致しますが、再び厚く御礼申し上げ、ロンダ市役所の名において心よりご挨拶申し上げます。

ファン ベニテス メルガル
第一助役 兼観光局長



協会創立10周年記念事業として

各教室ごとにイベント開催を推進

スペイン語講座委員会では、2000年の協会創立10周年を記念して、各教室ごとに主催するイベントを企画するよう呼び掛けている。その実施にあたっては、協会から各教室に平均5万円前後のイベント開催費の補助金を支出することになった。

内 容：各教室が自主的に企画し、受講生、協会会員の誰でもが楽しく参加でき、親睦が図れるもの。

例：講演会、修学旅行、テルトゥーリア、etc...

補助金：提出された企画書をもとに補助金額を決定。

補助金の使用に関しては、受講生個人に帰する飲食費、入場費等は除外。

期 間：実施期間は2000年4月から2002年3月までの2年間。

企画書提出先：スペイン語講座委員会（随時受付）

実施後の義務：実施報告書を会計報告とともに講座委員会宛てに提出。

AIYES通信に、イベント実施状況を掲載するための原稿および写真を添付。

盛り上がったスペインサロン

会報21号でお知らせした通り、しばらく休止していたスペインサロンが、10月と11月に、様相も新たに再開された。

従来は講師が壇上で講演するという形をとっていたが、再開されたサロンでは、テーマになる話題が中心で、このテーマに沿って、参加者がそれぞれ知っていることを披露し、お互いが知識を得る形のものだ。もちろんテーマによっては、その件に関して専門的知識を持つ講師を招聘して講演をしていただくこともある。

いずれにしても新形式のサロンは、フリートークが原則。参加者の活発な話で、大いに盛り上がる。以下、10月と11月のサロンのようすを報告する。

■10月のスペインサロン

久しぶりのスペインサロンが10月15日に神奈川自治会館で行われた。今回はスペインの情報についてフリートークで盛り上がりとうことで、20名の方が集まった。

はじめに毎年のようにスペインに、ご夫妻でロング・スティをしている当協会会員の根岸清永さんに、自身の体験とロング・スティのノウハウを話してもらった。

根岸さん夫妻は99年5月から三ヶ月、マラガ市の中心にピソを借りて滞在し、そこからグラナダやメリダ、トルヒージョなどを訪ね、パラドールに泊まったり、サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼の道を巡ったという。

「スペインは比較的過ごしやすいが、生活は日本より10年から時には20年位遅れているように思われます」とも語っていた。

賃貸アパートだが、マラガ地方では高級リゾートマンションが多く、賃貸料も比較的高いが、通常生活に必要な道具類、電気製品はほぼそろっており、すぐ生活できるということだ。日本でピソを決めて行かなくても、当地に行って不動産屋に相談する方法もあるということだ。

また、食生活はスーパーマーケットで米（ジャポニカ米）を売っているので、米食については不安はないとのことだった。

また各地を旅行すると、その地特有の景色・特色などいろいろ興味深いことや、違った体験ができるのでよいとも話していた。たとえば、メリダの昼下がりには46℃位になるそう。トルヒージョは静かで、塔の上にはコウノトリの巣があったりと、しごくのどかな町だった。ラ・コルーニャは市役所を中心に、人口20数万の大きな町で、ここでは魚とパンが美味しく、風景もリアス地方特有の地形で、その海岸線はじつに美しく、まさにリアス式海岸の原型の地、とのことであった。

スペインは全般的にクレジットカードが便利で、レンタカーはクレジットカードでないと借りることができないとのことであった。また銀行カードでは、シティーバンクのカードが便利だとのことだ。

■11月のスペインサロン

11月27日のスペインサロンでは10数名が集まり、ワインのことを中心に、フリートークで行われた。



▲自ら前に出て話す人もいて大盛況のサロン

寺原さんからスペインみやげのトゥロンの提供があり、これを食べながら、なごやかに話が始まった。

最初に川口さんが自分の経験したことを話し出した。それはスペイン北部、リオハ、エストレージャのワインのこと、またフランスのブルゴーニュワインが虫害に遭った時、巡礼の道（カミーノ・デ・サンチャゴ）沿いのスペインのリオハのワインが急速に発展したことなどを語った。

またスペインでは、各地方に美味しいVino de la casa（ハウスワイン）があること、その土地、その雰囲気飲んでこそ、ほんとうにそのワインの味が分かることなどと、話がはずんだ。

話題の最後に、今マドリードなどの大都市で、中国人組織が関係した日本人のパスポートを狙った犯罪が横行していて、時には怪我をさせられることもあるので、要注意であることなどが情報として紹介された。

次回1月8日のサロンは、スペインの音楽をテーマに、また盛り上がりたということになった。

石川美知子

スペインサロンへのお誘い

下記の要領で、スペインサロンを開催致します。お誘い合わせの上、ふるってご参加下さい。大いに盛り上がりましょう。なお、サロンは原則として毎月第3土曜日の午後開催の予定です。

■日 時： 1月8日（土） P.M. 2:00～P.M. 4:00

場 所： 県民サポートセンター 406号室（横浜駅西口 三越デパート横入る）

テーマ： スペインの音楽について

参加者持参のテープやCDを聞きながら、スペイン音楽のあれこれを話し合いたいと思います。

■日 時： 2月19日（土） P.M. 2:00～P.M. 4:00

場 所： 神奈川自治会館 6F 602号室

テーマ： スペイン旅行についての情報。特に安売り航空券の落とし穴や、スペインへの留学その他について、当協会会員で太陽海外航空にお勤めの日野顕さんを中心に話を進めます。

■日 時： 3月18日（土） P.M. 2:00～P.M. 4:00

場 所： 神奈川自治会館 6F 602号室（予定）

テーマ： 神奈川大学教授藤田一成先生にご著書の「皇帝カルロスの悲劇」を中心に語ってまいります（予定）。

担当：石川

高柳

寺原

***** スペイン語講座情報 *****

西語講座「セレス」教室紹介

平尾 佐代子

1992年4月に当協会の活動の一つとして、横浜市交流ラウンジでスタートしたスペイン語教室「セレス」はそろそろ開講8周年を迎えます。

経験豊かでいつも明るく元気な栗山由美子先生の厳しい指導の下、スペイン語の奥深い魅力にすっかりとりつかれてしまっております。

月3回土曜日、真剣さの中にも時々笑い声も交じる和気あいあいとした雰囲気での1時間半の授業が終わると、私達は快い疲労とともに満ちた充実感を覚えるのです。

すでに数冊のテキストを終了し、現在はスペインから取り寄せたVen 2とそのワークブックを教材として使っておりますが、文法、会話はもとより、スペインの文学、芸術、歴史、地理、風俗習慣等、豊富な話題を盛り込んでいる優れた教材で、しかも栗山先生はほとんど日本語を使わない方針で授業を進められます。

受講生は、年齢20代から80代までの14名の個性派ぞろいで、クラスの名称「セレス」（さくら）にあやかるが如く、数名は協会主催の「さくら植樹スペイン友好親善の旅」に参加して国際交流の役目を果たし、また語学力に磨きをかけるためスペイン語の学校に短期留学をする人もいれば、習い覚えたスペイン語を操って中南米やスペインで自分好みの旅行を楽しむ人もいます。

まだまだ未熟な私達ですが、更なる向上を目指し、楽しみつつ息長く勉強を続けたいものです。多少とも経験のある方、このクラスに参加なさいませんか。どうぞ気軽に見学にお越しください。



会話が出来なくても心通じたスペイン語 (第1回)

湖 上 昇

昔スペイン語を勉強したが半世紀以上スペイン語とは縁のなかった私が1989年3月スペインへ旅行することになった。或る日グラナダからの帰り、ロハという村のHotel La Bobadillaに泊まった。立派なホテルで広大な敷地の中に客室は一戸建てで夫々がまた素敵な造りになっていた。

翌朝一人で散歩に出て道に迷ってしまい「自分の家」に帰ることが出来ず途方にきてぼんやり立ち止まっていたところ、50m位先を人が横切っていくのが見えた。早速「おーい」と声をかけ走って行き、確か「¿Dónde está el comedor para desayuno?」と聞いたように覚えている。

件の青年はニコッと笑って、何か云ったが「俺について来い」と言う仕草をした。途中何か話しかけて来たが判らない。やっと食堂迄辿りついた。Muchas Graciasと云って握手して別れた。愛想の良い好青年は手を振って去っていった。有り難うの気持ちは伝わったと思う。

次はネルハのパラドルを出てカディスへ行く途中、白い村カサレスの街を散歩していた時のこと、丁度昼時で空腹でもあったので、小さなバルに立ち寄った。中は一杯の人で、カウンターへも近づけない有り様。ちょっと気後れしたが、その人達の間をすり抜けて、カウンターでコーヒーとボカディージョらしきものを注文して金を払うべく小銭を手の平に拡げて勘定していたら、傍らにいたおじいさんが私の手の平の小銭をつまんで主人らしき人に払ってくれた。Graciasと云ったら、主人と二人で笑っている。座る処もないので外で食べようとしたら、ここで食べろと云う仕草をするのでそこでコーヒーを飲みながらパンを食べ終わって、帰る時 Gracias Adiósと云ったら、皆が一斉にこっちを向いて大きな声で Adiósと云って送り出してくれた。

食べている最中も何かと話しかけて来たが全然判らず終いだった。唯、一言 Yo soy japonés. とだけ言った。こんなことしか言えずお恥ずかしい話だが、私には何か心暖まる感じがした。(以下次号)



▲スペイン語講座の仲間たちと(左端筆者)

スペインワイン探訪 (第2回)

— ヘレス編 —

— 山崎宗城 —

今回はスペインを代表するワインの産地を訪ねるワイン紀行の第2回。今回の訪問地、ヘレス・デ・ラ・フロンテーラは日本では通称ヘレスとも言われ、シェリー酒の産地として知られている。実は、このヘレスの英語読みがシェリーなのだ。だから、シェリー酒という名は、この地で出来たものにしか付けられない。

マドリード・アトーチャ駅9時発AVE9618の車窓から赤土の大地に整然と広がるオリーブの畑をながめセビリアに到着したのは11時半。ホームにはサンチェス・ロマーテ社のピケロ君が迎えに来てくれた。

私共は、春祭りで賑わうセビリアをうらめしく感じながらカディス湾に沿ったヘレス・デ・ラ・フロンテーラの町までの80キロの道を南下した。広大な平野は綿花・小麦・レモラッチャ(ビート)・ひまわりの栽培による農地である。ヘレスの町の入口には小さな飛行場もあり、英国からの来訪者も多いという。シェリー酒と英国との歴史を思わせる存在である。

原産地呼称は、JEREZ, XERES Y SHERRY Y MANZANILLA SANLUCAR DE BARRAMEDAであり、ヘレス、プエルト・デ・サンタ・マリア、サンルカル・デ・バラメダを結ぶ三角地であり、グアダルキビール川とグアダレーテ川と大西洋に囲まれた地形と気候が特徴である。

私共が向かったビニェードには隣接してボデガがあり、そこではクリアンサまでの工程のワイン造りが行われていた。ヘレスの原料となる白ブドウはパロミノ種で、4月末のこの日は、まっ白な大地に水々しい葉の緑が美しいブドウの樹の根元の土おこしの最中であった。

この白い土壌は、アルバリサ（ALBARIZA）と呼ばれる石灰質の高い、固い粘土壤中、まさに白い台地である。

私は感慨深い思いがあった。大学時代を通し、アルビヨン・クラブのメンバーとして年1度のシェリーパーティは最大のイベントであり、シェリーを飲みながら英国での学生生活を送った先生方や作家達の話聞いた思い出があるからであり、アルビヨンとは白い大地を意味することを識っていたからである。ALBAとは白の意味である。

扱ってワイン造りは、破碎されたブドウの果汁の泡の立つ最初の醗酵が3～4日続き、その後静かな第2醗酵が516リットル入りのオーク材の大樽の中で12～1月頃まで続く。

この時ヘレスで最も特徴的なフロールがワインモストの表面に現れる。フロール（FLOR）は生きた酵母細胞フィルムで、この膜が酸素を吸収しワインの酸化を防ぎ、ヘレスに特徴的な香りと味を生み出す。この段階でワインはオリぬき（DESLIO）が行われる。これはまた、カタログションとも呼ばれ、ワイン造りの専門家カタドールの臭覚と直感力によって次に進むべきクリーンサが分けられる。



▲サンチェス・ロマーテ社カタドールによる
利き酒

フィノ

a. フィノ（FINOS）＝淡い麦ワラの黄色。ドライ。

アルコール度数15.5～17° 軽い酸味。デリケートで鋭いアロマ、青いリンゴを思わせる。

b. アモンティジャド（AMONTILLADOS）＝コルドバのモンティジャを想わせるの意。フィノをさらに熟成させたもの。琥珀色。アーモンド。ヘイゼル香。アルコール度数16～18°

c. マンサニージャ（MANZANILLA）＝サンルカル・デ・バラメダで造られるフィノ。レモンイエロー。オリーブやカモミラを想わせる香。アルコール度数15～16°

オロロソ

a. オロロソ（OLOROSO）＝名称から想像されるようにアロマの力強さをもつ。輝くような濃黄色。最初はドライな口あたりながら後味にあま味を感じさせる。アルコール度数18～20° フローラの発生を抑えた樽。

b. ラジャ（RAYA）＝オロロソのキャラクターを持ちながらデリケートに欠けた濃黄色。

c. パロ・コルタド（PALO CORTADO）＝オロロソとアモンティジャドのハイブリッド。前者の味覚と後者のアロマを持つ。琥珀系の色。アルコール度数18～20°

ドゥルセ（DULCES）

ペドロ・ヒメネス種のブドウを使いソレアド方法でブドウの糖化を高め、醗酵も途中で止めブドウ糖を残したあまいワイン。アルコール度数15～18°

モスカテル（MOSCATEL）

マスカット種のブドウを使ったあまいワイン。色は熟成によりマホガニー色。アルコール度数15～18°

ソレラ方式

ヘレスの特徴は酵母醗酵が修了した後のクリーンサをクリアデラと呼ばれる貯蔵・熟成場に於いてソレラ（SOLERA）方式で行う点にある。

これは一番古いワインを一番下段の樽ソレラに、二番目に古いワインをその上にと順々に積み上げ一番上段が新しいワイン樽となり、各上段より20%程づつ下段へ移して行く。最下段のソレラからぬき取ったワインを再度調整した後瓶詰めするもので、若いワインが古いワインに混ぜられ均質なワインになる。

ヘレス＝シェリーは、アペリティフ、食事と共に、そしてデザートワインとして幅広い選択が可能だ。

会員投稿

スペイン、北の旅（第1回）

—— 高柳 治子 ——

1999年5月20日

マドリッド・チャマルティン駅を出た汽車は、エル・エスコリアル、アビラ、バジャドリッド、バレンシアを経由して、4時間後にはブルゴス駅に到着しました。エル・エスコリアル駅ではエル・エスコリアル宮殿が、アビラ駅からは、旧市街をとり囲む城壁が見えました。

ブルゴスは、9世紀末から200年近くも、カスティリア・レオン王国の首都として栄えた所です。すべて

がしっとりとした風格あるたたずまいを見せる落ち着いた町です。丁度私が訪れた頃は、甘いかおりの白い花をつけたアカシヤの木々の緑が風にゆれていました。

駅舎を出た私は、市中を流れるアルランソン川に沿って町の中心へと歩いて行きました。川の両岸には柳の並木が続き、道を尋ねたお年寄り、「ブルゴスは人よりも木の数が多いですよ」と、笑いながら教えてくれました。川岸では釣り人が糸をたれ、水鳥が水面をわたり、私は一瞬、私のふるさと金沢を思い出していました。

15分ほど歩いたころ、左手にサンタマリア門が見えてきました。ブルゴス旧市街への入り口となる一つの門です。一番上には幼な子イエスを抱かれた聖母マリア、次に天使、そして地球を手にするカルロス五世、レコンキスタの英雄エル・シドを含むブルゴスゆかりの6人の英雄が見えました。この門をくぐるとそこはサン・フェルナンド広場。セビリア、トレドと並んでスペイン三大大聖堂の一つといわれる、ゴシック建築の最高峰ブルゴス大聖堂がそびえていました。修復中のため、外からはわずかな部分しか見ることができませんでした。しかし尖塔を飾るレース模様を思わせる見事な細工は、夜になるとライトアップされ、光の中で真っ白にうかびあがるその美しさには、畏敬の念をすらおぼえました。ホテルの私の部屋は丁度この尖塔を仰ぎ見る位置にありましたので、夜中に何度ベッドから出て窓を開け、その清らかな姿に見入ったことでしょう。(以下次号)



▲オンドリビアのパラドールにて筆者

★★★★★賛助会員紹介 (第2回)

太陽海外航空株式会社 スペインツアーセンター

横浜スペイン交流協会創立の当初より賛助会員として加えて頂き、今日まで10年間様々な形で愛顧いただけてきました。

スペイン専門の旅行会社としても20年以上の実績と、全員スペイン留学経験のあるスタッフにより常に良いご旅行の手配が出来るよう日々努力しております。

通常のツアーなどでは立ち寄ることのない特殊な地方へのご旅行を計画、フラメンコ、または語学研修をお考えの時(熟年コースもあります)、もちろん普通の個人旅行やその他短期、長期、人数の多少に関わらず一度ご相談下さい。会員の皆様には、特典サービスをご用意しております。

オフィスには昨年10月から資料館<イベリアプラザ>もオープンし、豊富な資料の閲覧と気軽な情報交換の場としてもご利用頂ける様になりました(ご利用案内をご請求下さい)。

インターネットのホームページでも多くのスペイン情報を発信しており大変ご好評を得ておりますので是非一度ご覧下さい(<http://www.sun-rise.co.jp>)。ホームページをお持ちの会員の方はご連絡下されば直ぐにリンクさせていただきます。

お近くにお出かけの折には、お気軽にお立ち寄り下さい。スタッフ一同で歓迎いたします。

代表取締役 久本 勝之
担当 日野 顕



▲オフィスのインテリアもスペインの雰囲気

お申し込み、お問い合わせは



東京都知事登録旅行業第3-4013号

太陽海外航空株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目2番14号 山陽アネックスビル

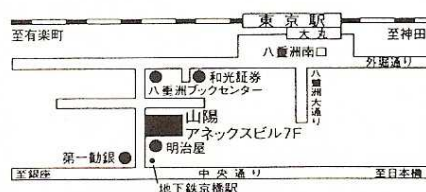
SPAIN TOUR CENTER

03(3281)2441(代)

Fax: 03-3281-2442

ホームページ: <http://www.sun-rise.co.jp>

Eメール: sun-rise@lares.dti.ne.jp



— スペイン・ミニミニ情報 —

◎2000年のスペインの祝日

本年のスペインの祝日が、下記のように決まりました。スペインへのご旅行のさいの参考にしてください。

なお、下記のほか、それぞれの地方で特有の休日があるので、注意してください。

原則として、美術館や博物館は、1月1日と12月25日以外は、月曜または火曜が休館となり、その他の日は祝日でも開館しています。しかし、開館時間には変更があり、午前中だけ、あるいは午後早めに閉館といったことがありますので、現地で確認してください。

(マドリッド自治州内)

1月1日…新年
1月6日…主顕節
4月20日…聖木曜日
4月21日…聖金曜日
5月1日…メーデー
5月2日…マドリッド自治州の日

8月15日…聖母被昇天祭
10月12日…イスタデー
11月1日…諸聖人の日
12月6日…憲法の日
12月8日…聖母受胎の日
12月25日…クリスマス

(バルセローナ・カタルニア地方)

1月1日
1月6日
4月21日
4月24日…イスタマンデー
5月1日
6月24日…サン・ファン

8月15日
9月11日…カタルニアの日
10月12日
11月1日
12月6日
12月8日
12月25日 26日

※例年祝日の3月19日(日)サン・ホセは本年は日曜日と重なるが、振替休日は設けない。

※7月25日(日)サンチャゴ祭は、5月2日のマドリッド自治州の日に振替える。

◎2000年前半のスペインの主な宗教祭事

ラス・パルマス カーニバル……………2月16日～3月11日
サンタ・クルーズ・デ・テネリフェ カーニバル……………3月3日～3月12日
謝肉祭(灰の水曜日に先立つ日曜日)……………3月5日
灰の水曜日……………3月8日

聖週間(セマーナ・サンタ)……………4月17日～4月23日
セビリアの春祭り(フェリア)……………4月29日～5月7日
ロシオ精霊降臨祭……………6月10日～6月12日
聖体祭……………6月22日～6月25日

賛助会員各社の会員サービス内容

先般皆様のお手元にお届けした会員証を提示することで、下記の賛助会員各社より、各種のサービスを受けることができます。

賛 助 会 員	住 所	電話番号	会員サービス内容
レストラン オリーブ	横浜市西区高島2-5-10	045-441-4996	サングリア一杯
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア一杯
Bar Español	カサ・デ・フジモリ関内本店前	045-651-1074	サングリア一杯
カサ・デ・フジモリ目黒店	J R目黒駅(東京) 徒歩5分	03-5420-5328	サングリア一杯
アランフェス	横浜スカイビル11階	045-442-0581	サングリア一杯
アマポーラYokohama	横浜ルミネ6階	045-453-6851	サングリア一杯
パレード・デ・かまくら	鎌倉市 江ノ電長谷駅そば	0467-22-6798	サングリア一杯
太陽海外航空(株)	東京都中央区京橋2-2-14 山陽アネックスビル	03-3281-2441	日本出入国カード作成料及び成田空港使用料を負担する
J T B 団体旅行横浜支店	横浜市中区相生町4-75 J T B. YN馬車道ビル	045-664-2730	ツアー料金割引(添乗員付だけ) ルック J T B、J T B エース各3%旅行用品割引 トラベランド店にて10%割引特別カード進呈
アトリエJUNE	横浜市神奈川区西神奈川 1-6-1 サクラビル701	045-313-9417	押し花額制作代の通常価格から10%割引

事務局から

2000年度年会費納入のお願い

2000年度(2000年4月1日～2001年3月31日)の正会員年会費 3,000円、賛助会員年会費10,000円を2000年3月10日までに、最寄の郵便局から同封の払込取扱票(払込手数料は協会負担)にて振込をお願いします。

2000年度有効の会員証は、4月1日発行のAIYES通信に同封してお届けする予定です。会員証の制作日程を確保するため、振込期日は厳守下さるよう重ねてご協力をお願いします。

<編集後記>

2000年ミレニアムの年が始まりました。くしくも今年は協会創立10周年の年でもあります。各種の記念行事が予定されていますので、皆様のご協力よろしくお願いします。

* 投稿寄稿宛先 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター内
かながわ県民活動サポートセンター
レターケースNo.184 横浜スペイン交流協会会報係